

【表紙】

【提出書類】	有価証券報告書
【根拠条文】	金融商品取引法第24条第1項
【提出先】	九州財務局長
【提出日】	平成21年6月24日
【事業年度】	第11期（自平成20年4月1日至平成21年3月31日）
【会社名】	株式会社トランスジェニック
【英訳名】	TRANS GENIC INC.
【代表者の役職氏名】	代表取締役社長 山村 研一
【本店の所在の場所】	熊本県熊本市南熊本3丁目14番3号
【電話番号】	(096) 375 - 7660 (代表)
【事務連絡者氏名】	管理部部長 中川 隆生
【最寄りの連絡場所】	兵庫県神戸市中央区港島南町7丁目1番14
【電話番号】	(078) 306 - 0590
【事務連絡者氏名】	管理部部長 中川 隆生
【縦覧に供する場所】	株式会社東京証券取引所 (東京都中央区日本橋兜町2番1号)

(2) 提出会社の経営指標等

	回次 決算年月	第7期 平成17年3月	第8期 平成18年3月	第9期 平成19年3月	第10期 平成20年3月	第11期 平成21年3月
売上高	(千円)	640,195	E05317)			

2 【沿革】

年月
平成10年4月 E05317)

事項

3【事業の内容】

当社グループ（当社及び当社の関係会社）は、当社、子会社1社及び関連会社1社により構成されており、「遺伝子破壊マウス事業」及び「抗体事業」を主たる業務としております。

当社グループの事業内容及び当社と関係会社の当該事業に係る位置付けは次のとおりであります。

3 【対処すべき課題】

当社グループの対処すべき主要な課題等は以下のとおりであります。

- (1) 今後の事業展開について
創薬ターゲットの探索・同定に向けて

4 【事業等のリスク】

E05317)

7【財政状態及び経営成績の分析】

文中の将来に関する事項は、当連結会計年度末現在において、当社グループが判断したものであります。

(1) 重要な会計方針及び見積り

当社グループの連結財務諸表は、わが国において一般に公正妥当と認められている会計基準に基づき作成されております。この連結財務諸表を作成するにあたり重要となる会計方針及び見積りの概要については、「第5 経理の状況 1 連結財務諸表等 (1) 連結財務諸表 連結財務諸表作成のための基本となる重要な事項」に記載されているとおりであります。

(2) 経営成績の分析

当連結会計年度の遺伝子破壊マウス事業の売上高は145,236千円で前年同期に比べ63,517千円減少しましたが、当連結会計年度より本格的に開始した試薬販売事業の売上高が67,243千円で前年同期に比べ41,598千円増加し、また、抗体事業の売上高が80,629千円で前年同期に比べ15,565千円増加したことから、連結売上高は324,865千円となり、前年同期に比べ7,983千円の減少となりました。売上原価につきましては、153,861千円で前年同期に比べ21,997千円減少しました。これは、原価率が比較的高い受託事業収入が減少し、原価率の低い試薬販売事業等の製品販売が

第3【設備の状況】

1【設備投資等の概要】

平成13年改正旧商法第280条ノ20及び第280条ノ21の規定に基づく新株予約権
(平成14年5月30日臨時株主総会特別決議)

(3) 【ライツプランの内容】
該当事項はありません。

(8) 【ストックオプション制度の内容】
E05317)

$$\text{調整後発行価額} = \frac{\text{既発行株式数} \times \text{調整前発行価額} + \text{新発行株式数} \times 1 \text{株当たり払込金額}}{\text{既発行株式数} + \text{新発行株式数}}$$

平成13年改正旧商法第280条ノ20及び第280条ノ21に基づく新株予約権

決議年月日

平成14年5月30日

付与対象者の区分及び人数

当社取締役 2名

当社従業員 29名

当社子会社従業員 1名

社外協力者 5名

$$\text{調整後行使価額} = \text{調整前行使価額} \times \frac{1}{\text{分割・併合の比率}}$$

5 【役員の状況】

役名	職名	氏名	生年月日	略歴	任期	所有株式数 (株)
代表取締役 社長		山村 研一	昭和23年10月10日生	昭和53年4月 富山大学和漢薬研究所助手		
				昭和56年4月 大阪大学医学部助手		
				昭和59年7月 大阪大学医学部講師		
				昭和61年4月 熊本大学医学部附属遺伝医学研究施設教授		
				平成4年4月 熊本大学医学部附属遺伝発生医学研究施設長		
				平成6年6月 熊本大学遺伝子実験施設長		
				平成8年4月 熊本大学医学部附属遺伝発生医学研究施設長		
				平成10年4月 熊本大学動物資源開発研究センター長	(注)2	65
			平成12年4月 熊本大学発生医学研究センター(現発E05317)			

氏名	生年月日	略歴	所有株式数 (株)
光安 直樹	昭和33年3月2日生	昭和55年4月 日本ラヂエーター株式会社(現カルソニックカンセイ株式会社)入社	

6【コーポレート・ガバナンスの状況等】

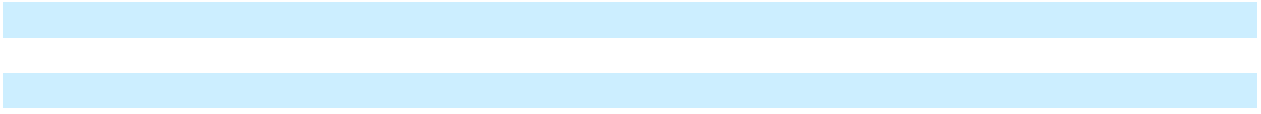
(1)【コーポレート・ガバナンスの状況】

コーポレート・ガバナンスに関する基本的な考え方

取締役会で決議することができる株主総会決議事項
中間配当

当社は、株主への柔軟な利益還元を可能とするため、取締役会の決議により、毎年9月30日を基準日として中間配当をすることができる旨定款に定めております。

株主総会の特別決議要件
E05317)





項目

前連結会計年度
(自 平成19年4月1日
至 平成20年3月31日)
(追加情報)

当連結会計年度
(自 平成20年4月1日
至 平成21年3月31日)

当社及び国内連結子会社は、法人
税法改正に伴い、平成19年3月31日
以前に取得した資産については、改

前連結会計年度
(自 平成19年4月1日
至 平成20年3月31日)

当連結会計年度
(自 平成20年4月1日
至 平成21年3月31日)

(リース取引に関する会計基準)

所有権移転外ファイナンス・リース取引については、従来、賃貸借取引に係る方法に準じた会計処理によっておりましたが、当連結会計年度より「リース取引に関する会計

【注記事項】
(連結貸借対照表関係)

E05317)

(連結株主資本等変動計算書関係)

前連結会計年度(自平成19年4月1日至平成20年3月31日)

1 発行済株式の種類及び総数並びに自己株式の種類及び株式数に関する事項

	前連結会計年度末 株式数(株)	当連結会計年度 増加株式数(株)	当連結会計年度 減少株式数(株)	当連結会計年度末 株式数(株)
発行済株式				
普通株式	109,075			109,075
合計	109,075			109,075
自己株式				

(連結キャッシュ・フロー計算書関係)

前連結会計年度
(自 平成19年4月1日
至 平成20年3月31日)

現金及び現金同等物の期末残高と連結貸借対照表に掲
記されている科目の金額との関係

(平成20年3月31日現在)

当連結会計年度
(自 平成20年4月1日
至 平成21年3月31日)

現金及び現金同等物の期末残高と連結貸借対照表に掲
記されている科目の金額との関係

E05317)

(2) ストック・オプションの規模及びその変動状況

当連結会計年度（平成20年3月期）において存在したストック・オプションを対象とし、ストック・オプション(E05317)

(税効果会計関係)

E05317)

	当連結会計年度 (千円)		主な内容
消去又は全社の項目に含めた 配賦不能営業費用の金額	489,239	E05317)	

(1株当たり情報)

前連結会計年度 (自平成19年4月1日 至平成20年3月31日)	当連結会計年度 (自平成20年4月1日 至平成21年3月31日)
1株当たり純資産額 25,014円38銭 1株当たり当期純損失金額() 8,109円80銭 なお、潜在株式調整後1株当たり当期純利益金額については、潜在株式は存在するものの1株当たり当期純損失であるため記載しておりません。	1株当たり純資産額 19,211円75銭 1株当たり当期純損失金額() 5,821円31銭 同左

(注) 碑時 純縦嬰邁い

前連結会計年度

【連結附属明細表】

【社債明細表】

該当事項はありません。

【借入金等明細表】

該当事項はありません。

(2) 【その他】

当連結会計年度における四半期情報

	第 1 四半期	第 2 四半期	第 3 四半期	第 4 四半期
	自平成20年 4 月 1 日	自平成20年 7 月 1 日	自平成20年10月 1 日	自平成21年 1 月 1 日
	至平成20年 6 月30日	至平成20年 9 月30日	至平成20年12月31日	至平成21年 3 月31日
売上高(千円)	49,713	84,828	62,299	128,023
税金等調整前四半期純損失 金額() (千円)	172,750	139,380	213,237	105,544
四半期純損失金額() (千円)	174,016	139,779	213,669	107,412

匳 鏗 嬰

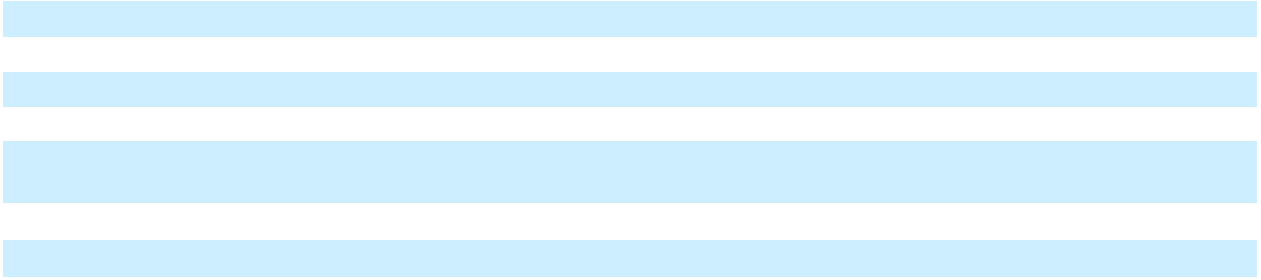




【製品売上原価明細書】
（売上原価明細書）

前事業年度
（自 平成19年4月1日





項目

前事業年度
(自 平成19年 4月 1日
至 平成20年 3月31日)

当事業年度

【表示方法の変更】

E05317)

前事業年度
(自 平成19年 4月 1日
至 平成20年 3月31日)

当事業年度
(自 平成20年 4月 1日
至 平成21年 3月31日)

1 期斗苻昨年 3月3

前事業年度
(自 平成19年4月1日
至 平成20年3月31日)

当事業年度

(有価証券関係)

前事業年度 (平成20年 3 月31日) 及び当事業年度 (平成21年 3 月31日)

E05317)

(1株当たり情報)

前事業年度 (自 平成19年4月1日 至 平成20年3月31日)	当事業年度 (自 平成20年4月1日 至 平成21年3月31日)
1株当たり純資産額 25,191円20銭 1株当たり当期純損失金額 () 7,996円12銭 なお、潜在株式調整後1株当たり当期純利益金額については、潜在株式は存在するものの1株当たり当期純損失であるため記載しておりません。	1株当たり純資産額 19,525円71銭 1株当たり当期純損失金額 () 5,684円17銭 同左

(注) 1 1株当たり当期純損失金額の算定上の基礎は、以下のとおりであります。

前事業年度
(自 平成19年 4月 1日
至 平成20年 3月31日)

当事業年度
(自 平成20年 4月 1日
至 平成21年 3月31日)

【附属明細表】
【有価証券明細表】
【株式】

銘柄

株式数(株)

貸借対照表計上額
(千円)

(2) 【主な資産及び負債の内容】

流動資産

二．商品

品名	金額（千円）
研究用試薬	3,055
合計	3,055

ホ．仕掛品

区分	金額（千円）
遺伝子解析受託研究他	5,752
合計	5,752

ヘ．貯蔵品

品名	金額（千円）
実験用消耗品他	6,476
合計	6,476

投資その他の資産

イ．関係会社株式

会社名	金額（千円）
株式会社プライムユーン	238,740
株式会社イムノキック	3,000
合計	241,740

流動負債

イ．買掛金

相手先	金額（千円）
ProteinTech Group, Inc.	4,265
アダプトゲン製薬株式会社	2,216
メビオフ広味	
宛禪 菱 昭公 衫瀧 硯 腕販 44 俟 (丸) 能砲 芋 劇	

第7【提出会社の参考情報】

1【提出会社の親会社等の情報】

当社には、親会社等はありません。

2【その他の参考情報】

当事業年度の開始日から有価証券報告書提出日までの間に、次の書類を提出しております。

(1) 有価証券報告書及び参考喚 共

第二部【提出会社の保証会社等の情報】

独立監査人の監査報告書

平成20年 6 月25日

株式会社トランスジェニック

取締役会 御中

独立監査人の監査報告書及び内部統制監査報告書

独立監査人の監査報告書

平成21年 6月23日